

令和元年度 前期事業

令和元年度 通常総会

1、日 時： 令和元年6月16日（日） 10：30～12：10

2、場 所： アサヒビル園 はまなす館

3、参加人員： 39名（委任状含む）

4、議 題：

- (1) 平成30年度 会務運営報告、資産報告
- (2) 平成30年度 事業報告
- (3) 平成30年度 決算報告
 - ・無線機購入報告について
 - ・期末消耗備品在庫表について
- (4) 平成30年度 監査報告
- (5) 令和元年度 会務運営方針（案）
- (6) 令和元年度 事業計画（案）
- (7) 令和元年度 予算（案）
 - ・パソコン1台100,000円購入について
- (8) 令和元年度 理事、監事、名誉会長、顧問
- (9) その他
 - ・平成30年度正会員在籍者名簿と一般会員在籍者名簿及び令和元年度各在籍者名簿について
 - ・メールアドレスの登録について
 - ・事務局勤務日の変更について
 - ・令和元年度前期事業出欠票について

5、距離認定表彰式

1,000km達成 山田 様

おめでとうございます

6、新規正会員の紹介 葛西 直登 様

7、懇親会 ロイン亭にて 12：20～13：50



会長挨拶



名誉会長挨拶



新正会員の紹介



懇親会の様子

旧千歳線探訪ウォーキング

- 1、日 時 : 令和元年8月18日（日） 09：00～14：00
- 2、経 路 : 地下鉄白石駅～環状通り夢の橋～旧月寒駅跡～大谷地虹の橋～厚別南公園（旧上野幌駅跡）～国道274号～湯処ほのか温泉
約10.3km
- 3、天 候 : 曇り時々晴れ
- 4、参加人員 : 17名
- 5、内 容 :
 - 準備体操後出発しました。旧千歳線サイクリングロードは東札幌～北広島迄で白石区は「ふれあいロード」、厚別区は「陽だまりロード」、北広島市区域はエルфинロードと呼ばれ今回は白石区と厚別区の10.3kmを全員が完歩致しました。
 - 旧国鉄千歳線の跡地を利用した当コースは新緑の並木の囲まれ野鳥がさえずり道路端の花壇には色とりどりの花がきれいに咲いていました。
そんな中を多くの市民がウォーキングやジョギング、サイクリングをして汗を流

していました。又多くの公園の一つに厚別南公園は、旧国鉄千歳線の上野幌駅跡地に作られた公園で駅舎があった小高い丘には駅のシンボルだったイチイの木が今も残り、美しい花や緑に囲まれていたという往時の面影を偲ばせていました。

- 初めて参加した70代の男性は「沢山のトンネル内には、モザイクタイルアートがあり、地域住民が協力して制作した不揃いのタイルは素朴なぬくもりがありました。又景色を眺めたり、会話をしたり、とても楽しかったです」と笑顔で話していました。
- 湯処「ほのか」に到着後はお楽しみの温泉入浴で汗を流し疲れを癒しました。昼食会ではビール等を飲みながら親睦を深め、それぞれ三々五々に帰宅しました。



集合写真



会話・景色を楽しむ一行



食事会

中央区「円山」登山

1、日 時　： 令和元年9月29日（日）地下鉄円山公園駅バスターミナル
9：45分集合

2、場 所　： 札幌市中央区「円山」（標高225m）・札幌市円山動物園

3、コース：地下鉄円山公園駅9：45～円山登山口（円山大師堂）10：00～
山頂10：40着（10：55発）下山～円山動物園裏11：20～円山
動物園（昼食・見物）

4、天候：曇り～雨～晴れ、気温18°C（登山口で）

5、参加人員：12名

6、内容：

- 円山は、藻岩山、三角山と並んで、年間を通して健康のため登る人が絶えない山で、登りは八十八ヶ所コース、下りは動物園コースを歩きました。
家族連れも多くみられ、3歳くらいの子供がお父さんと手をつないで頑張っている姿が微笑ましく、参加者からは「ガンバレ」の掛け声が出していました。
- 約40分で頂上。天気予報では「曇り」だったのに、歩き初めにはパラパラと降り出し、樹木のない頂上では、大粒なってきて、記念写真を1枚撮り、一路、動物園に向け下山しました。
- 動物園にたどり着くと、雨は嘘のように上がり、青空が見えてきました。参加者からは「雨男」は誰だと声が出ていましたが、雨男は誰だったのでしょう？円山動物園には、初めてとか、何十年ぶりとかの参加者が多く、昼食後は、新しくなった「ゾウ舎」「ホッキョククマ館」などを童心に帰って楽しく見学しました。
- 下山途中、先頭が掲げる「歩くスキー協会の旗」を見た女性登山者から「2～3年前一緒に信濃神社に行きました」と声をかけられてびっくりしました。世の中広いようで狭いものだと思いました。
- 今回、「円山原始林」として天然記念物に指定されている円山に登りましたが、札幌のような大都市の都心近くにこのような原始林が残されていることはとても珍しいということで、大切に守り伝えていかなければならないとの思いを新たにしました。



頂上にて記念写真



昼 食

もどる